

# ロープレスキュー



## 2 どんなメリットがあるの？

災害現場での救出時間の短縮、安全性の向上、資器材の軽量が図られるため隊員の負担が軽減され、要救助者に対してより安全な救出活動が可能になります。



近年、救助活動現場が複雑多様化し、救助隊には迅速、確実、安全が求められています。東山梨消防本部管内の大半は、山岳地帯に囲まれており、現在ロープレスキュー救助技術の現場導入に向け訓練を行っています。

## 1 ロープレスキューって何？

ロープレスキューとは、欧米で山岳救助に使われている資器材や救助方法を、日本の消防隊が取り入れた救助方法であり、従来の消防の救助方法をベースにロープや資器材を組み合わせで行います。



要救助者を崖下から救出する訓練



要救助者を救出する担架の設定訓練



要救助者を中州から救出する訓練

## 3 どんな現場で行うの？

ロープレスキューは、高低差のある場所、急斜面、断崖のような垂直面、川の中州など、救出が困難な災害現場で実施します。



### \* 要救助者とは…

怪我や病気で救助を必要としている人のことです。



要救助者を高所から低所へ救出する訓練



地上での要救助者の救出訓練